

旭公民館だより

発行 令和6年12月
旭公民館
館長 伊吹公雄
電話 45-5903
FAX 45-5903

中須たま保育園みどり組さんの踊り



旭ふれあい 交流会

11/19(火) 旭公民館2階集会室

旭公民館で活動されている旭元気もりもり教室(代表=桑田千代子)・コールフリースシアコーラス教室(代表=栗本三枝子)の両生徒と中須たま保育園(園長=近藤玉枝)のみどり組(年中)の園児が、お互いに歌や踊りを出し合い交流を深めました。

まずは元気もりもり教室が、「この木なんの木」・「きよしのソーラン節」の歌に合わせての踊りで始まりです。

続いてはコールフリースシアが自分たちで作った小道具を使い「山の音楽隊」をみんなで一緒に歌いました。

さらに手話を使った歌も紹介され、園児たちも見よう

見まねで同じように手を動かしていました。

さて、いよいよ中須たま保育園みどり組の出番がやってきました。12月の発表会で披露するために、今練習中の踊りを元気いっぱい飛び跳ねながら頑張っていました。

続いて園児が、両教室の生徒たちのところに行って、肩たたきが始まりました。これには生徒たちも「気持ち良かった」「暖かくなった」と大好評の様子で、園児との交流で「若返るような気持ちになり、また頑張ろうと思った」などの声が聞かれました。

全員で記念撮影の後、退場アーチで園児を見送り、『お互いの笑顔』でお別れとなりました。



(裏面へ)

旭小学校2年生がお茶を体験

児玉先生の説明を聞いてお茶をいただく児童



旭小学校2年生が、生活科の授業で旭公民館を訪れる機会に合わせて、旭公民館で活動されている旭茶道教室（代表＝辻和子）との交流会を11/19（火）に行いました。

2年生30名を2班に分け、「お茶の体験」と「旭公民館の探検」とそれぞれに行いました。

「お茶の体験」では、講師の児玉宗美先生の指導によりお茶のいただき方を教わった後、初めての体験として抹茶を味わっていました。

「抹茶は苦かった」「お茶がおいしかった」「まんじゅうがおいしかった」などなど児童から感想がでるなか、「なぜお花があるんですか」と問いかけがありました。児玉先生は「それは『茶花』と言ってお茶の席を彩り、お茶とともに四季を味わうために飾つてあるものです」との説明に、何となくわかったような顔。

うーんなるほど、茶道はお茶をたしなむとともに、四季折々の花をさりげなく飾ることで季節の移ろいを感じるといった一面もあるのか、さすが伝統文化だけに奥が深いなあと納得する館長でした。



「旭公民館の探検」では、館長から施設内の各部屋がどう使われているか説明を聞き、「公民館はみんなが勉強するところ」だということを理解してもらいました。

また、展示室ではこの日に合わせて、「複製画による世界の名画展」を開催中で、ピカソの絵を鑑賞してもらいました。

「自分でもかけそうな絵だな」「何か独特な感じ」「芸術的」「美しい」「すごい」「貴重」「きれい」「じょうず」など児童たちの感性でたくさんの感想が出てきました。

「ゲルニカ」の絵の前では「なんとなく怖い」「書くのが大変そう」「顔が怖い」「どうやって描いたかわからない」「足が1本しかない」細かいところまで良く見ているなと感心させられました。児童たちに絵画からどんなことでもいい何かを感じ取ってもらえれば、展示した

意味があったのかなと一人で自己満足に浸っている館長が、そこにたたずんでいるかのようでした。

